

学校新聞

平成 28 年度
「薫風」第 2 号
5 月 16 日 (月)

薫風

～緑新たに風も薫れり～



発行元 東京都立大崎高等学校全日課程 〒142 - 0042 品川区豊町 2 - 1 - 7

なぜ人は学ぶのか！

校長 白井 克昌

なぜ人は学ぶのか。人生に立ち向かっていく行動力、判断力、思考力を身に付けるためではないか。建築家の安藤忠雄氏の言葉です。成績が上がらない時、人は自分の努力不足を棚上げて他に理由を求めようとします。「英語なんかできなくていい、日本人だから。」「先生の教え方が悪い。」「家には勉強部屋がない。」「部活動が忙しい。」など。あるベテラン教師が嘆いていたという話を聞きました。「最近の生徒は物事を深く考えないで直感で判断する。記述問題を出題すると白紙が多く、選択問題でないと答えられない。人の話を聞くことが苦手である。話していることをノートに要点をまとめて書きとれない。すぐに黒板に書いてくれと言う。注意力が持続しない。」など。

人は何のために学ぶのか。学校で学ぶのは教科・科目の点数を上げるためだけでなく、生徒会活動や部活動での先輩や後輩との人間関係や、大人に対する言葉使いなど、生きていく上での基礎的なノウハウを学ぶことも目的です。町の商店街のおじさんは買い物をする主婦に呼びかけます。「奥さん！今日は安いよ！勉強するから買ってよ！」この「勉強する。」の意味は何でしょう？おそらく「儲けは少なくなるけれど、無理して売るよ。」という意味でしょう。普段より少し無理をして努力することを「勉強」というのです。それを怠れば成績は上がらないでしょうし、人生を力強く生き抜いていく力は身に付かないでしょう。

硬式野球部と男子バスケットボール部が中間考査 1 週間前となり、朝勉強がスタートしました。大崎生は、勉強や部活動など何事にも前向きな姿勢で自分自身が一步成長するチャンスと決め、努力することから逃げずに頑張ってもらいたいと思います。

◎ビジネス手帳を上手に活用

2 年生からビジネス手帳を使い、書く、時間を意識する、考えるなどの基本動作を習慣化することにより、計画→実施→評価→改善の PDCA サイクルを身に付け、自己管理能力を育成する取組を行っています。朝と帰りのホームルーム活動で記入し、家で次の日の予定や忘れ物などの確認、一日の振り返りをするなど、有効に使いこなし、自ら学び、考え、行動できる人間に成長してください。

◎朝の読書活動の推進

4 月に朝の読書活動を拝見しました。静かに読んでいる朝の雰囲気はとても良く、ほっとした気持ちになりました。本には沢山の人の生き方や考え方が書いてあります。つまり、他者から生き方や考え方を学ぶことができます。坂本龍馬など歴史上で活躍した人から、映画・スポーツ・経済・政治などで現在活躍している人から、小説に登場してくる人物から、他者の生き方や考え方を学ぶことができます。大崎生は、最低でも毎月 1 冊は読書をしましょう。



◎校歌コンクールの開催

5 月に第 1 回校歌コンクールを開催しました。本校の卒業生で応援歌の作詞作曲した濱乃志隆こと、濱崎隆さんに最優秀賞の発表と講評をいただき、1 年 A 組が最優秀賞を受賞しました。今後は 1 年生では校歌が歌えるように、2 年生では応援歌が歌えるようにコンクールとして実施していきます。



新学期を迎え1カ月余、中間考査を前に各学年主任から生徒へのメッセージを掲載させていただきます。

中間考査に向けて

3学年主任 小島

生徒に5月11日「評定平均説明会」で、評定平均の出し方について、説明しました。

三学年の評定平均は1学期の評定が用いられるわけですが、これは、勝負は1学期で決するということを意味しています。

1学期の評定をどれだけ上げることができたか。このことによって、生徒の未来が決まります。これは決して大げさな表現ではありません。評定平均が0、1足りなくて、涙を吞んで志望校を変更したといったケースは、珍しくありません。

評定平均を上げるためのチャンスは、3年生にとっては1学期の中間考査と期末考査しかないのです。この認識をしっかりと持ってください。1学期末に「もっと勉強をしておけばよかった」と嘆いている3年生の姿を毎年見かけます。

頑張るのは今です。「今、楽をして後で泣く道」と「今、頑張ってから後で笑う道」。君はどちらの道を選びますか。今、この時を大切にしてください。

先に「勝負」という言葉を用いましたが、ここでいう勝負とは自分との勝負です。楽な道を選び、自分を甘やかしてはいませんか。しなくてはならない勉強を先送りしていませんか。他者と競争する必要はありません。自分に負けない生き方をしていれば道はおのずと開けます。

勉強をするにあたっては、友達と競争するのではなく友達を助けましょう。人に教えるというのは力をつけるための良き方法です。君に得意な科目あるなら、その科目が苦手な友人に教えてあげてください。自分も仲間も共に向上していく道を歩んでほしいと願っています。

始めるのに遅いということはありません。気が付いたらすぐ、そのときから始めればよいのです。3年生諸君が大きく飛躍する姿を見るのを楽しみにしています。

「心機一転」

2学年主任 廣見

2年生の諸君、2年生に進級して1か月余り、新学年の滑り出しはどうでしょうか？

2学年は高校生活の中では中だるみの学年とされています。1年生の緊張感や新鮮味がなく、3年生のように、迫りくる進路決定、就職、進学するにしろ準備に忙しくなるというわけでもない。そういった時期だからこそ、個人個人の真価が問われてくる時期ともいえます。今までやってきたことを振り返り、反省し、新たに気合を入れなおして、

2学年の生活を充実させて欲しいと思います。中だるみを防ぐために学習面、生活面で何か一つ新しいことを始めてみるといいと思います。「心機一転」何かをトライし、継続していくと自信につながり、生活の向上につながっていくと思います。

例えば、英語で書かれた簡単な小説を毎日少しづつ読む。徒然草や日本史物語を読む。

毎週30キロ走る。毎日、筋トレするなどなど。自分にとって少し大変だけど、何とかできるレベルを設定するといいです。その結果を例の能率手帳に記録していくと、励みになります。レコーディングダイエットというダイエット方法がありますが、記録するだけでより成果がでてくるものです。是非、何か初めてみましょう。

「大学を味わう」

2年生の後半には、3年生の科目選択が控えています。3年生になると、実は進路に迷っている時間はなく、決めた進路に向かって一直線です。まだ余裕のあるこの時期に、オープンキャンパス

に参加してもらおうと思っています。大学以外の進路を考えている諸君にも行ってもらいたいと思っています。日本の教育の最高学府ですから、見学にいくとそれなりに、考えさせられたり、自分を見つめ直すきっかけとなるのではないかと思います。

是非、大学を一度味わってみて、進路決定の一助にしてもらえればと思っています。

最後に、2年生には中心学年として、目前に迫っている中間考査をはじめ、勉強、行事、部活に精一杯取り組む姿を期待しています。ファイト2015年度生！

スタートダッシュで好発進をしよう。 第1学年主任 大嶽

今回の中間考査は、高校入学後最初の定期考査となります。全力で頑張り結果を出してほしいです。

自分の納得できる好成绩を修めれば、その後も高い目標をつくることができます。また、周囲からの期待もよいプレッシャーとなるはずですよ。

「成績を維持しよう」と思ったり、「もっと成績を上げよう」と思うようになって自然と勉強をすることが当たり前となっていきます。

このように上昇傾向の高校生活が生まれていきます。

正反対に今回の中間考査で全力で頑張らないと成績も納得するものにはなりません。普段の生活の中で頑張っていないと、途中から頑張ろうと思っても簡単にできることはありません。ですから、停滞あるいは下降傾向の高校生活になりがちです。

これからの3年間を考え、今回の中間考査が一時的な通過点ではなく、自らが希望する進路を実現する大切なきっかけになることを踏まえて、「やる気」を持って「根気」よく、最後まで全力で取り組んでください。

応援しています。

平成28年度 大崎高校校務分掌一覧 (◎分掌主任 ○副主任)

1学年	2学年	3学年	総務部	教務部	生活指導部	進路部
A◎大嶽	A◎廣見	A 新倉	◎國枝	◎安井	◎湯川	◎鈴木
B 原澤	B 阿部	B 北岡	○新妻	○太島	○田中信	○福德
C 米倉	C 河野	C◎小島	倉田	有馬	外川	加藤
D 高橋	D 松本	D 長友	武藤	粕谷	田中善	三浦
E◎吉岡	E 市川	E◎山口	小池	戸澤	山藤	江口
F 寺田	F◎伊堂寺	F 松尾		田原	佐藤	
G 庭野	G 澤本	G 小野寺		伊藤	荒川	
					小野村	

平成28年度 4月からこれまでの主な教育活動紹介

4月7日（木）入学式



土曜講習（特進クラス）の様子



校歌コンクールの様子



土曜講習（希望者クラス）の様子



朝の読書活動の様子



防災部が地域の防災体験フェアに参加

